

新製品・新技術特集の発刊に際して

取締役常務執行役員 児玉 敏雄
技術統括本部長 Toshio Kodama



新製品・新技術特集の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

世界経済は、米国が穏やかな回復傾向にあり、ユーロ圏も底打ち感が見えてきました。またアジアでも、中国に一時ほどの勢いはないものの、全体としては緩やかな成長が期待できます。国内経済も、サービス産業を主体に景況は改善、自動車業界等でも活気がでています。

このような国内外の事業環境のもと、当社は、今年、三菱重工業株式会社として誕生して50周年の節目の年を迎えます。当社は「エネルギー・環境」「交通・輸送」「防衛・宇宙」「機械・設備システム」の幅広い分野で、お客様の求める製品やサービスをグローバルな視点から把握し、市場のニーズにあった確かな製品・技術を開発、国際競争力を強化し、社会の持続的発展に貢献したいと考えております。

そこで本号では近年の成果の一端として15件の新製品・新技術を紹介します。エネルギー・環境関連では、世界トップクラスの高効率で高運用性のガスタービンM701F5形、ガスタービンの信頼性を支える動翼の非接触翼振動計測技術、火力プラントの水質管理に貢献する水質シミュレータ、小規模地熱発電にご利用頂けるバイナリ発電設備、省エネを迫及した三菱重工船用機械エンジン(株)の各種船用製品について紹介します。また拡張性の高い災害対応作業ロボット“Super Giraffe”，ロボット製品の障害物回避技術も紹介します。

交通・輸送関連では、深海有人探査船しんかい 6500 の運動制御性と操縦性の向上、海中機器向けの閉鎖式コンパクト・高効率固体高分子形燃料電池システム、環境にやさしいニチユ三菱重工フォークリフト(株)のフォークリフト・物流システムについて紹介します。

防衛・宇宙関連では、H-IIロケットの信頼性を支える活動、昨年打上げに成功したイプシロンロケット試験機向けの姿勢制御装置、発射装置について紹介します。また、衛星用ガンマ線検出器の技術を用いて開発した放射性物質見える化カメラとそれを用いたホットスポットの可視化についても紹介します。

機械・設備システム関連では、動く腫瘍へ連続的に集中してX線を照射するとともに、従来とは異なる軌跡を用いることで効率的照射を可能とした放射線治療装置、磁気軸受を搭載することでお客様のメンテナンス性向上を実現した高効率ターボ冷凍機について紹介します。

これからも私どもの活動に対しご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。